

# 人権を基盤とした防災・減災

我が国は、自然災害とは切っても切り離せない関係にあります。災害は多くの人命を危険にさらし、平穏な日常を奪います。そのため、日頃から災害時を想定した対応や、その後の避難生活などについて考えておくことが大切です。

自然災害には、台風や大雨など、天気予報などである程度予測が可能な場合と、地震や土砂崩れなど、突発的に発生するものがあります。いずれの場合も、安全確保が最優先なのは言うまでもありません。何よりも早めの避難が重要であり、場合によっては、何とか自力で生き延びるしかないという緊急の場合も起きるかもしれません。続いて、当座の食料や水、雨露をしのげる場所、医療などの確保が必要になってきます。

さらに、災害の直接の被害を乗り越えてからも、避難所生活が続く場合には、様々な課題が生まれてきます。

東日本大震災後の人権問題に関するアンケート調査によると、

○避難生活でプライバシーが守られないこと

○要支援者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊産婦など)への配慮が十分でないこと

○避難生活の長期化による

ストレスなどから、いさかいや嫌がらせが生じること

○デマや風評から差別的な言動が起きること

○支援や被災状況などの必要な情報が行き届かないこと

などの課題が浮き彫りになりました。

災害に備えるという観点から、避難訓練やライフラインの確保、備品の備蓄などとともに、想定しておかなければならないことがあります。それは、人権尊重という観点です。前述のアンケートが示す課題をみても、そのほとんどが人権にかかわっています。災害時でも人権が守られるためには、常日頃から、誰も排除しない社会をつくっていく必要があります。これは、災害弱者になりやすい方たちが、地域で孤立したり、必要なサービスを享受できなかったり、という問題を減らすことにもつながります。

さらに、復旧・復興の段階になると、住居や雇用、教育などの社会的・経済的な支援などが重要になってきます。

災害に対しては、「自助」が根底にあります。地域で助け合う「共助」の精神を培うことも大変重要であり、その基盤となるのが人権尊重の精神なのです。

我々の祖先は力を合わせて災害を乗り越え、社会を発展させてきました。今を生きる私たちも、災害に屈せず、人を思いやる心を大切にしながら、次の世代へとバトンを渡すべく、防災・減災に取り組んでいきます。

## ご案内

### 「第3回人権教育学級」

【日時】 11月18日(金)午後2時

【場所】 サウンドハウスホール

【講師】 北濱 道子さん

小松島市公立保育所にて40年間保育に携わる中、人権保育・教育に出会う。人権保育・教育を学びながら自分の子育てや保育を反省し、考え方を変え今に至る。

現在は徳島県人権教育指導員、まつしげ保育所所長、修学前人権教育研究会顧問として、人権保育・教育に取り組んでいる。

【演題】『子どもへのまなむし』から考える人権

市教育委員会生涯学習課  
人権教育推進室 新教育庁舎2階  
32・3814  
FAX 33・1230  
Mail:jinkenkyouiku@city.komatsushima-i.tokushima.jp

## 市民文芸 花みずき歌壇 (395) 松並敦子・選

柿の葉に光が踊る屋下が仔猫五匹が親を離れて

松島町 萬野 行子

ウクライナの平和を祈る見ら植えし向日葵の花顔あるごとし

田浦町 西 教明

プランターに夏野菜植えればすくすくと狭いながらも命はかがやく

立江町 湯浅かや子

青き空ミニのトマトは鈴生りに色づき始め今年順調

赤石町 田原トシ子

夕暮れに窓を開けると甲子園夢見し球児等の掛け声こだます

中田町 多田 健児

掃除機に毎日吸い込むねこ毛玉 忝げない不思議春先のネコ

間新田町 瀧川 益美

サイフォンのアルコールランプに火をつけて針そつと置く古いレコード

金磯町 川下 年男

三回目のコロナワクチン腕まくり夫と並びて神妙に受く

田浦町 太田カツミ

僕は風だれも掴まえたりしないソウヨ自由二何処マデモ風

横須町 山崎 泰子

庭先の薔薇の花びらにカマキリの孵化したばかりの命見つけし

江田町 深田 伴子